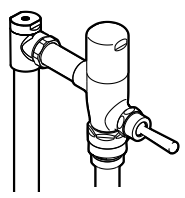
PMF-1161(19117)

施工説明書

節水形
大便フラッシュバルブ



CF-T7 型　CF-7 型
CF-T6 型　CF-6 型
CF-5 型

※中水仕様は品番の後に「-C」がつきます。
※低圧仕様は品番末尾に「T」がつきます。
※寒冷地仕様は品番に「H」がつきます。
※長尺ハンドル仕様は品番に「E」がつきます。

商品の機能が 100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

- この説明書は、同梱の「取扱説明書」とともにお客さまで保管頂くよう依頼してください。
- この説明書に書かれている注意事項は必ず守ってください。不適切な施工により事故が生じた場合は、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

⚠警告	「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠注意	「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害※のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
禁止	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。
指示実行	この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠警告

分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は、分解したり、修理、改造を行わないでください。** ※ケガをしたり、漏水・故障・破損の原因になります。

⚠注意

禁止	**強い力や衝撃を与えないでください。** ※故障・漏水の原因になります。
	凍結の恐れがある場所では、必ず凍結防止を行ってください。 ※器具本体および便器の凍結破損により故障・事故・漏水の原因になります。
	本体の通水路には抵抗となるようなオリフィスなどをつけないでください。 ※ 洗浄性能への悪影響や漏水の原因になります。

⚠注意

指示実行	**メッキされた部分にモンキーレンチなどを用いる場合は、メッキを傷付けないように必ず布などをはさんでください。** ※ メッキがはがれ、ケガをする恐れがあります。
	ピストン等の掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。 ※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。
	空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにしてください。 ※ 新築や改修工事後、断水復旧後に大量の空気と水が混入して器具に供給されると破損や故障の原因となります。
	フラッシュバルブ本体は重たい為、取扱いには十分注意してください。 ※ 落とすとフラッシュバルブ本体や衛生陶器が破損して漏水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。また、ケガをする恐れがあります。
	新築･改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。 ※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具･配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。
	取り付け接続部に腐食・ひび割れ等のないことを十分確かめた上、取り付けてください。 ※故障・漏水の原因になります。

仕様

品名		大便フラッシュバルブ				低圧用大便フラッシュバルブ	
品番		CF-T7型	CF-T6型	CF-6型	CF-5型	CF-7_T型	CF-6_T型
給水圧力	最低必要圧力（流動時）	0.1MPa ※1	0.1MPa ※2		0.07MPa	0.04MPa ※3	0.05MPa ※3
	最高圧力（静水圧）	0.75MPa				0.1MPa	
給水口径		25A（ねじサイズR1）					
止水栓ストレーナー		あり		なし			
使用温度範囲		0～40℃（ただし品番に「H」がある場合は－10～40℃）					
使用水		上水（ただし品番に「－C」がある場合は中水 ※4）					

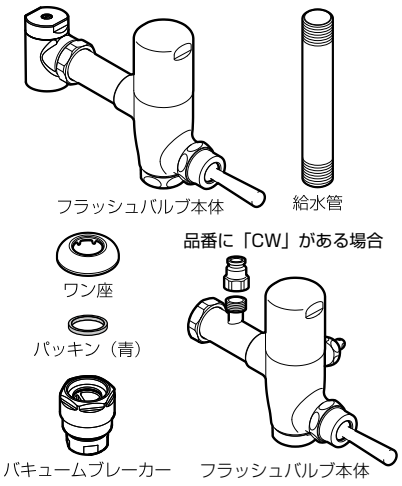
※ 1: 0.07MPa～0.1MPa時は5.5Lにて使用
※ 2: 0.07MPa～0.1MPa時は8Lにて使用
※ 3: ハンドル操作は3秒以上
※ 4: 中水は使用できる水質範囲があります。
詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。
※ 5: 他のフラッシュバルブを使用の際に止水時と通水時の水圧差が大きい場合、止水状態にあるフラッシュバルブへ水圧変動を及ぼすことで、止水状態にあるフラッシュバルブから、一時的に水が流れることがあります。故障ではありませんが、配管設計の際に水圧差が大きくならないようご配慮ください。

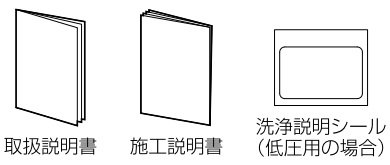
ホームページアドレス：https://iinavi.inax.lixil.co.jp/products/faucets/flush_cs/

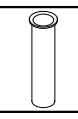
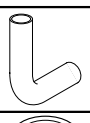
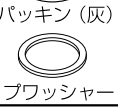
取り付け前に

1. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。





	ツバ式	差込み式
洗浄管		
パッキン・ワッシャー	パッキン（黒）	パッキン（灰）  スリップワッシャー（白）

※品番によっては、同梱される部品や形状が一部異なります。

専用アダプターについて

フラッシュバルブアダプターはシャワートイレを接続するための部品です。
シャワートイレを接続する際は、下記の専用アダプター（別売）をご利用ください。
※中水仕様には取付できません。

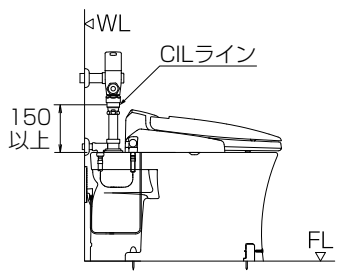
クリップリング接続用
A-1879

		定流量弁あり	定流量弁なし
対応FV品番	CF-T7型	K-T001 K-T001A	－
	CF-T6型	A-8785 A-8735A	－
	CF-7型 CF-6型 CF-5型	－	A-8736 A-8736A

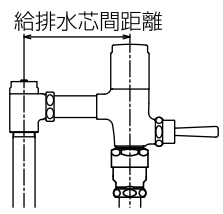
※クリップリング接続の場合はA-1879を別途手配ください。
※施工方法はフラッシュバルブアダプターの施工説明書をご参照ください。

2. 施工前のご注意

- **フラッシュバルブを取り付ける前に、必ず配管内のゴミ・砂・水垢・配管用接着剤等の異物を完全に洗い流してください。**
- **付属の給水管はステンレス管のため、異種金属接触による腐食を防止するため、接続部が給水管と材質が異なる場合は、必ず絶縁継手をご使用ください。**
- フラッシュバルブ本体は、水量調節スピンドルが必ず上にくるように垂直に取り付けてください。
- バキュームブレーカーの高さは、側面の「CIL」ラインが便器上面より150mm以上の位置に施工してください。（右図参照）
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品に問題はありません。
- 各接続部は、漏水がないように確実に接続してください。



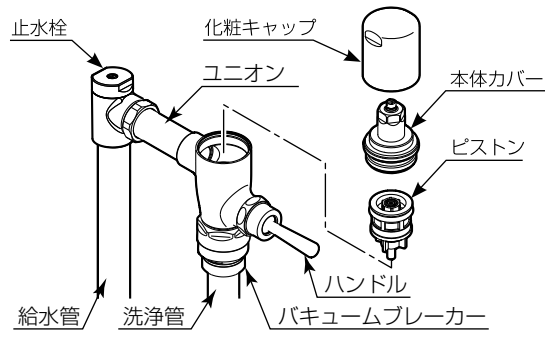
- 上水仕様は上水道以外に接続しないでください。機械内部の腐食により、故障および皮膚の炎症の原因になります。
※上水以外で使用する場合は中水仕様をお使いください。詳細は「仕様」をご参照ください。
- 低圧用フラッシュバルブでシャワートイレと組み合わせる場合は、シャワートイレの必要最低水圧が確保されていることを確認ください。
- 給排水芯間距離
壁給水は 120mm、床給水は 156mm です。
上記以外の芯間距離の場合は、現場に合った芯間変更ユニオンをご購入の上、施工前にお取り換えください。



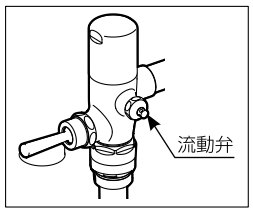
※ 1: 芯間寸法100mmでシャワートイレを分岐する場合、A-8664(100)と止水栓分岐アダプター (K-016AまたはK-016A-1)を手配することで対応可能です。

製品品番		CF-T7型		CF-T6型		CF-7型、CF-6型、CF-5型	
定流量弁		あり		あり		なし	
シャワートイレ専用アダプター		なし	あり	なし	あり	なし	あり
水質		上水･中水兼用	上水のみ	上水･中水兼用	上水のみ	上水･中水兼用	上水のみ
芯間距離（㎜）	120	A-9590	K-T001	A-8665	A-8735	A-8664	A-8736
	156	A-9590A	K-T001A	A-8665A	A-8735A	A-8664A	A-8736A
	100	－	－	－	－	A-8664(100)	－ ※1
	130	A-9590(130)	K-T001(130)	A-8665(130)	A-8735(130)	A-8664(130)	A-8736(130)
	140	A-9590(140)	K-T001(140)	A-8665(140)	A-8735(140)	A-8664(140)	A-8736(140)
	150	A-9590(150)	K-T001(150)	A-8665(150)	A-8735(150)	A-8664(150)	A-8736(150)
	160	A-9590(160)	K-T001(160)	A-8665(160)	A-8735(160)	A-8664(160)	A-8736(160)
	170	A-9590(170)	K-T001(170)	A-8665(170)	A-8735(170)	A-8664(170)	A-8736(170)
	180	A-9590(180)	K-T001(180)	A-8665(180)	A-8735(180)	A-8664(180)	A-8736(180)
	200	A-9590(200)	K-T001(200)	A-8665(200)	A-8735(200)	A-8664(200)	A-8736(200)

各部のなまえ



■流動式



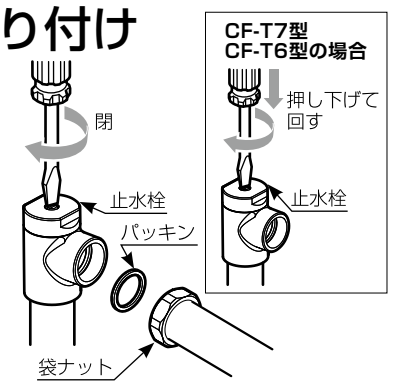
商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

施　工　方　法

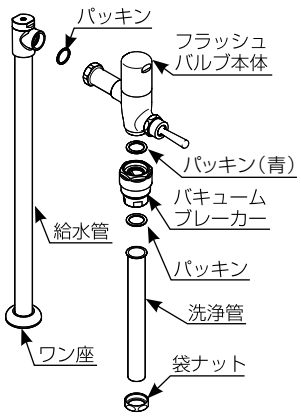
1 フラッシュバルブの取り付け

⚠注 意

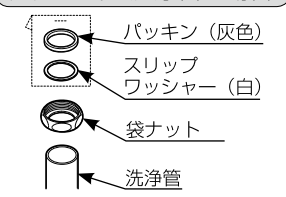
取り付け前に、必ず配管内のゴミ・砂などを完全に洗い流してください。



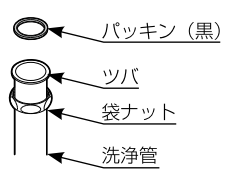
①給水管にシールテープを巻きワン座を取り付け、所定の位置に接続します。
②止水栓をフラッシュバルブ本体から外し、給水管に取り付けます。
　※ この時、袋ナット部のパッキンをなくさない様に注意してください。
③止水栓をマイナスドライバーで閉めます。
　※ CF-T型の場合は押し下げて回すと、閉まります。
④フラッシュバルブ本体から袋ナットとパッキンを外し、バキュームブレーカーを取り付けます。
　※ 接続する際、パッキン（青）が入っていることを必ず確認してください。入っていないと漏水の原因になります。
⑤洗浄管に袋ナットを通し、スリップワッシャー、パッキンを入れバキュームブレーカーに取り付けます。
　※ 洗浄管が長い場合は、切断して調節してください。
⑥フラッシュバルブ本体と止水栓を接続します。
　※ 接続する際、パッキンが入っていることを必ず確認してください。入っていないと漏水の原因になります。
　※ 押しボタン式フラッシュバルブは給水方向によって押しボタンの組み替えが必要な場合があります。



差込み式の洗浄管の場合

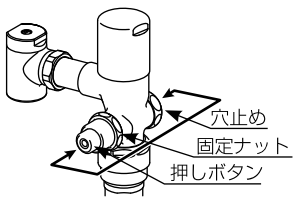


ツバ付の洗浄管の場合



押しボタン式フラッシュバルブのボタン組み替え方法

押しボタンの固定ナットを外し、穴止めと組み替えます。

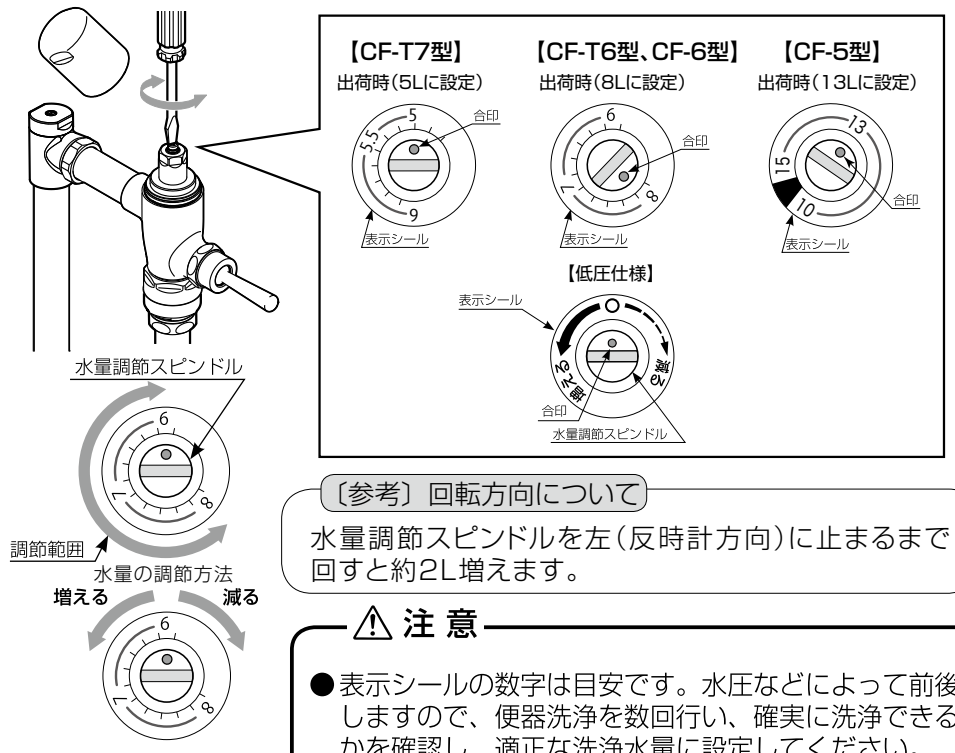


2 洗浄水量の調節

水圧が確保されていることを確認のうえ、化粧キャップを外し、表示シールを参考にしながら水量調節スピンドルをマイナスドライバーで設定します。組み合わさる衛生陶器品番によって水量調節してください。

型種類	衛生陶器品番	水勢調節	洗浄水量	水量調節スピンドルの調整位置	出荷時の水量調節スピンドル位置
CF-T7型	C-P25S、C-P25H	不要	5L※1	出荷時設定より変更なし	水量調節スピンドルを反時計回りに全開にして、時計回りに戻した時の1周目に合印と表示シールの「5」が合う位置
CF-T6型	C-P13S・C-P15HK・C-P15SK・C-P16P・C-P17P・S-207	不要	6L※2	合印を時計回りで6Lに合わせる	水量調節スピンドルを反時計回りに全開にして、時計回りに戻した時の1周目に合印と表示シールの「8」が合う位置
	C-P145S・C-852B・C-852BM・C-852M・C-854B		8L	出荷時設定より変更なし	
CF-6型	C-P141S・C-P143S	必要	6L※2	合印を時計回りで6Lに合わせる	水量調節スピンドルを反時計回りに全開にして、時計回りに戻した時の1周目に合印と表示シールの「8」が合う位置
	C-P13P		8L	出荷時設定より変更なし	
CF-7型低圧仕様	C-P25S、C-P25H	必要	6L	【低圧仕様】出荷時設定より変更なし	水量調節スピンドルを反時計回りに全開にして、時計回りに戻した時の2周目に合印と表示シールの○が合う位置
CF-6型低圧仕様	C-P145S・C-P15SK・C-P15HK・C-P13S・C-852M・C-852B・C-852BM・C-854B	必要	8L	【低圧仕様】出荷時設定より変更なし	水量調節スピンドルを反時計回りに全開にして、時計回りに戻した時の2周目に合印と表示シールの○が合う位置
CF-5型	C-4R・C-4RSM・C-5RT・C-5RTSM・C-415・C-5KRSM・C-715BM・S-206R	必要	10L	合印を時計回りで10Lに合わせる	時計回りで全開にし、反時計周りに戻した時の2周目に、合印と表示シールの「13」が合う位置
	その他※3		13L	出荷時設定より変更なし	

※1 流動時水圧が0.1MPa以上の場合の洗浄水量です。流動時水圧が0.07～0.1MPaの場合は洗浄水量が5.5Lになりますので水量調節スピンドルで調節してください。
※2 流動時水圧が0.1MPa以上の場合の洗浄水量です。流動時水圧が0.07～0.1MPaの場合は洗浄水量が8Lになりますので水量調節スピンドルはそのままでご使用ください。
※3 衛生陶器に水勢調整シールがある場合は、水勢シールの上限ラインを超える場合に水勢の調節が必要です。
※4 S-203Uは流動時静水圧を0.1MPa以上確保できるように配管設計してください。



〔参考〕回転方向について

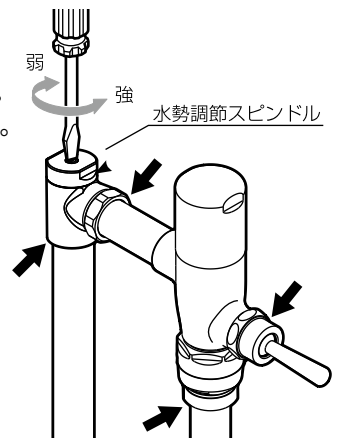
水量調節スピンドルを左（反時計方向）に止まるまで回すと約2L増えます。

⚠注 意

●表示シールの数字は目安です。水圧などによって前後しますので、便器洗浄を数回行い、確実に洗浄できるかを確認し、適正な洗浄水量に設定してください。

3 水勢の調節・漏水確認

※調節前に、便器の施工説明書にある水勢を確認してください。
①水勢調節スピンドルが閉まっていることを確認し、元栓を開けてください。
②ハンドルを押しながら水勢調節スピンドルを開け、水勢を調節します。（CF-T型の場合は止水栓を全開）
※一度ハンドルを押しそのまま押し続けると、水は止まってしまいます。数回押して流し調節してください。低圧仕様はハンドルを押し続けている間水が流れ続けます。
③水勢の調節
　使用場所の水圧、配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スピンドルを回転させて適正な調節をしてください。
　右に回転…水勢が弱くなる
　左に回転…水勢が強くなる
④この時、水はねがなく、洗浄水が鉢全体に回り、接続部（右図矢印）や、フラッシュバルブ本体に漏水などの異常がないことを止水時と洗浄時にご確認ください。
⑤鉢内洗浄の良否は長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個が1回の操作で排出できるかどうかで確認してください。



施　工　後　の　確　認

取り付けが完了した後、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。
①フラッシュバルブ本体、止水栓はしっかり取り付いていますか？
→「施工方法　1フラッシュバルブの取付け」参照

漏水の確認

漏水がないか確認してください。
②接続部は、しっかり締めていますか？
→「施工方法　1フラッシュバルブの取付け」参照

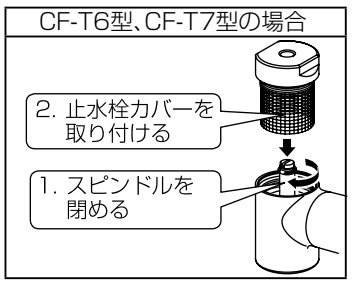
洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定通りの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。
③洗浄水量は正しく設定されていますか？
→「施工方法　2洗浄水量の調節」参照
④止水栓は開いていますか？
→「施工方法　3水勢の調節・漏水確認」参照

器具内の清掃

⑤（CF-T6型、CF-T7型の場合）止水栓ストレーナーにゴミつまりはないですか？
→止水栓ストレーナーを掃除します。
　掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。

⚠注 意

●CF-5型、CF-6型、CF-7型（CF-T6型、CF-T7型以外の機種）にはストレーナーはなく、止水栓カバーを取り外すと漏水するため止水栓カバーを外さないでください。
●CF-T6型、CF-T7型でストレーナー付止水栓カバーを取り外す際は、必ず製品の止水栓を先に閉めてください。

※止水栓を閉めずに止水栓カバーを取り外した場合スピンドルが自立しないため止水栓カバーの取付けが困難となります。
→スピンドルを閉めてから止水栓カバーを取り付けてください。
⑥ピストンにゴミつまりはないですか？
→ピストンを掃除します。
　掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。